

# 石狩放水路

茨戸川から日本海に通じる放水路のこと。昭和6（1931）年に生振捷水路おやふるしやうすいろが完成した際、旧流路は茨戸川、マクンベツ川として本流から切り離されました。しかし、下流の運河で本流とつながっていたため、洪水時には、運河を通して水が逆流し、氾濫を起こしていました。

そこで、運河に水門を設けるとともに、茨戸川から日本海へ放水路を掘削することとなりました。工事は、昭和47（1972）年に着手、昭和51（1976）年着工し、昭和57（1982）年に完成しました。完成直前の昭和56（1981）年夏の洪水時には、緊急通水され、大きな効果をあげました。

完成後、茨戸川の水位が2.7m低下し、洪水時にも大きな効果が期待されています。

（工藤義衛）



□ 放水路延長□	2,458m
□ 水路幅□	50m
□ 放水路水門□	2門（2段式ローラーゲート）
□ 計画高水量□	毎秒500m <sup>3</sup>

（1）北海道開発建設部（監）（1981）北海道開発局治水工事三十年のあゆみ。